

秋を楽しく安全に！交通安全5つのおやくそく

もしかして (危険予測)

もしかして、自動車・バイク・
自転車・歩行者などが来る
かもしれないと意識しまし
う。周りの様子をよく見て、
起こりそうな危険を予測し、
安全に行動しましょう。



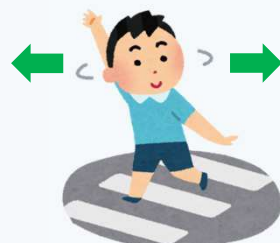
と ま る (一時停止)

「止まれ」の標識をみたら、
必ず自転車も歩行者もしっ
かり止まりましょう。動きな
がらでは、周りの危険を見
落としやすくなります。いっ
たん止まることで、次の「み
る」行動に集中できます。



み る (安全確認)

周りが安全かどうかを自分
の目でしっかり確認しまし
う。ちらっとみただけで判断
すると、危険を見落とすこと
があります。顔をその方向
に向けて、しっかり見ること
が大切です。



ま つ (安全確保)

心と時間にゆとりを持ち、安
全になるまで、人や車が通
り過ぎるのを待ちましょう。
思ったより車のスピードが
速かったり、あわてて途中
で転んでしまったりすると、
大きな事故につながるおそ
れがあります。



たしかめる (再確認)

安全にわたったり、通ったり
できるか、もう一度よく確
めましょう。一度「安全だ」と
思っても、周りの状況は数
秒で変わることがあります。
最後にもう一度確認するこ
とで、事故を防ぎやすくなり
ます。



秋は日が暮れるのが早くなるよ！

秋は、夏よりも日が早く暮れます。夕方に出かけるときは、歩行者
も自転車も車から見えやすくすることが大切です。歩くときは明るい
服や反射材を身につけ、自転車は早めにライトをつけて、周りをよく
見ながら安全に進みましょう！



みんなで守って事故防止！

交通安全は一人一人がルールを守ることが大切です。道路をわた
るときは、止まって左右をよく見ましょう。自転車に乗るときは、ヘル
メットをかぶり、安全運転を心がけます。事故にあわない、起こさせ
ないためにもみんなで交通ルールを守りましょう！